

「いども・女性110番の家」の標示板が 全町で統一されました

町では、こどもや女性の緊急一時避難所として、町内148世帯よりご協力をいただき「いども・女性110番の家」を設置しています。

これまででは、合併以前からの各地区ごとに異なる標示板を活用してきましたが、このたび写真のようなデザインで全町で統一しました。「危険を感じたときは、このマークの家に駆け込む」ということをご家族でご確認ください。

県内でも小学生が犠牲となる痛ましい事件が発生し、保護者の皆さんは不安な日々を過ごされていることと存じます。町では、「いども・女性110番の家」の設置のみならず、防犯指導隊、交通指導隊、こども見まもり隊、防犯協会等関係機関の協力を得ながら、防犯活動についてなお一層取り組みを強化しているところです。町民の皆さんにおかれましても、こどもたちの登下校時間に合わせて外に出ていただくなど、引き続き見まもり活動にご協力いただきますようお願いいたします。



美郷めぐり「湧水探訪」



「湧水」をテーマに町内3地区の清水や、見ごろを迎えた千畑ラベンダー園を訪れる「美郷めぐり」が7月2日、町民の皆さん34名が参加して行われました。この企画は町民の皆さんに新しい町・美郷の魅力や名所、特色を知っていただくことを目的に、昨年6月から実施しています。

仙南地区の「天神堂の清水川」では地元佐藤健良さん(写真中央)から説明を受け、あいにくの雨の中にもかかわらず、参加者の皆さんは生活用水や農業用水として利用してきている清水川の話に熱心に耳を傾けていました。また、佐藤さんは「自分たちの生活に密着し恩恵を与え続けてくれている清水川を地域ぐるみでこれからも大切にしていきたい」と話してくれました。

次回は「歴史」をテーマとして、秋に実施する予定です。詳細は広報でお知らせいたします。

町消防訓練大会が開かれました

平成18年度美郷町消防訓練大会が、7月2日、雨の降りしきる肌寒いなか雁の里山本公園消防訓練場で開かれました。(成績は次のとおりです。)

なお、小型ポンプ操法と規律訓練で第3位まで入賞した各団は、7月23日に開かれた大仙市仙北市美郷町支部消防訓練大会へ出場。健闘しましたが惜しくも全県大会への出場権を逃しました。

【総合の部】

優勝 3分団(千畑地区)

準優勝 1分団(千畑地区)

第3位 10分団(仙南地区)

【小型ポンプ操法の部】

優勝 1分団(千畑地区)

指揮者 煙山 健

団員 煙山 千秋

高山 良浩

煙山 康晴

準優勝 5分団(千畑地区)

指揮者 深田 重夫

団員 鈴木 博昭

小田長 真

森元 淑雄

第3位 3分団(千畑地区)

指揮者 照井 勇一

団員 熊谷 剛

佐々木和寛

高階 充

【規律訓練の部】

優勝 3分団(千畑地区)

準優勝 6分団(六郷地区)

第3位 10分団(仙南地区)



あなたの「声、
を町長に直接
伝えませんか

8月のふれあい談話室

期 日	時 間	場 所
8月24日(木)	午後5時～ 午後6時30分	千畑庁舎1階応接室

町長が町民の皆さんから、町政へのご意見やご要望を直接お伺いします。

また、面会は随時受け付けますので、事前に町長公室秘書広報班にご連絡ください。

問
い
合
わ
せ

役場(六郷庁舎)町長公室 秘書広報班 ☎0187-84-4900(内線1226)

町長が週1日
役場千畑庁舎
と仙南庁舎で
執務

移動町長室

曜 日	時 間	場 所
毎週火曜日	午前9時～	仙南庁舎
毎週木曜日	午後3時	千畑庁舎

町長が毎週1日、役場千畑庁舎と仙南庁舎で執務していますので、ご用のある方はお立ち寄りください。

なお、会議への出席などにより、不在の場合や実施できない場合があります。

風

美郷町長 松田知己



「風と雰囲気と水と」

時折通り抜ける風が、風鈴の音とともに一服の清涼剤に感じる時季になりました。特に木陰の風は、値千金と思いがいかげんでしょうか。

さてその風、農地と住宅地では同じ風速・風向でも、きつと感じ方が違います。先日、雄物川河川敷で実に爽やかな風を感じてきましたが、もし住宅地だったら少し違っただろうと思います。その核心は、その環境を持つ独特の雰囲気やイメージの違いだろうと思います。ふと、美郷に吹く風はどういう情緒を感じさせるのか気になりました。まずは美郷という環境、土地柄がどういう雰囲気を持つっているかです。

私は美郷の持つ雰囲気、イメージは癒しや潤いだらうと思います。そのためにも、何としても「水」は大切にしていきたいと思います。十八年度で「水環境の保

全」を重点としたのも、こうした考えの延長です。「水」を大切にする取り組みが浸透することで、きつと癒しや潤いの雰囲気、イメージが一層醸成されていくものと信じております。

具体策としては、まずは身近な水、湧水や河川等を大切にすること意識啓蒙が必要で、清水めぐりや河川環境の愛護などの取り組みはその位置付けです。また、水質保全はもっと重要です。不法投棄の防止による水源域の汚染防止や公共下水道や集落排水の整備、合併浄化槽の設置による生活雑排水の流出抑制は、癒しや潤い空間創出の基本です。

しかし、残念ながら公共下水道や一部の集落排水では、その加入が進んでいません。加入なくして多額の投資は生きてきませんし、生活雑排水が湧水や農業用排水に影響を与え、水環境の保全に繋がりにません。どうか未加入の方々には、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

風に良き情緒を感じられる美郷の雰囲気、その雰囲気醸成に必要なきれいな水環境、その水環境を保全する具体の取り組み、その取り組みへの皆さんの参加が、ひいては美郷に住んで良かった、あるいは美郷を訪れてみたいという評価に繋がるように思います。皆さんで水環境について考えていきたいものです。清水まつりがある八月だからこそ・・・。

写
真

7月1日に行われた「べごっこまつり」で挨拶する松田町長。